

情報漏えいの防止に関する取り組みについて

2024年3月28日

東京電力ホールディングス株式会社

東京電力パワーグリッド株式会社

- 東京電力パワーグリッドでは、一般送配電事業者における一連の情報漏えい事案を受けて、内部統制システムの基本方針に一般送配電事業者としての中立性確保を明記し、行為規制をはじめとする法令遵守や情報管理の徹底・透明性の確保等の観点から、内部統制システムの一層の強化に取り組んでいる。
- 社外委員を過半数とする内部統制委員会を新設するとともに、最高コンプライアンス責任者の設置や法令遵守推進委員会・情報管理部会を新設し、三線管理による体制の整備・強化を実施。そのうえで、2023年4月25日開催の第84回制度設計専門会合で示された「確認する事項・観点」および「評価の観点」をもとに、内部統制強化に向けた具体的取り組みを推進しているところ。
- 人事交流に関しても、兼職については法を遵守しつつ、適正取引GLに準拠して、発電・小売事業者の契約情報等を扱う部署から電力小売営業・電力取引・電源開発業務等への直接異動は、自主規制を設けて対応。人事交流によって競争阻害とならないよう、一般送配電事業者としての中立性・公平性の担保に努めている。

中立性・信頼性の更なる確保に向けた内部統制システムの強化に向けた取り組み

情報漏えいに係る再発防止	内部統制システムの強化	人事交流の規制と管理
アクセス権の設定と確認 <ul style="list-style-type: none">・システム再点検による非公開情報の用に供するシステムの再精査・①人事情報に紐付けたアクセス権限設定と確認、社外システムのID・パスワード管理	運用体制の整備・強化 <ul style="list-style-type: none">・一般送配電事業者の中立性の確保に関する行動規範を東京電力グループ規程に明記・法令遵守に関する役員を明確化するため、最高コンプライアンス責任者を設置・外部専門家が過半数の内部統制委員会の設置	兼職の規制 <ul style="list-style-type: none">・法を遵守し、兼職する場合は監視等委に説明したうえで、HPに公開
アクセスログの解析 <ul style="list-style-type: none">・②アクセスログの確認により、不正アクセスが無いことの確認	三線管理による複層的な管理 <ul style="list-style-type: none">・内部統制に関する三線管理の各防衛線機能を強化	人事交流の自主規制 <ul style="list-style-type: none">・④規程を定め、異動規制対象部署をリスト化し、適切に対応・モニタリング
物理的隔絶と入退館ログの確認 <ul style="list-style-type: none">・特定関係事業者と同居する建物の隔絶に加え、③社員証に紐付いた入館制限の導入や入館ログの確認 システム物理分割の段階的移行	基盤となる取組 <ul style="list-style-type: none">・法令遵守の前提となる規程マニュアル類を最新に保ち、社員の法的リテラシーを向上・経営層による社員との対話活動の展開により、行為規制を始めとする法令遵守の意識醸成	人事異動の際の管理 <ul style="list-style-type: none">・⑤転出者に対する情報持ち出しの禁止と管理者による厳正管理の徹底を異動前に周知・実施・⑥転入者に対する行為規制や情報管理の教育実施

法令・ルールの理解を深めるための教育 ・ **⑦全従業員に対するe-ラーニングの展開**

- 人事交流に際しては、社内規程により直接異動禁止となる業務を定め、直接異動の禁止部署リストを行為規制管理箇所が確認の上、異動調整を実施。
- 一般送配電事業者から外部へ異動する社員全員を対象に、情報持ち出しの禁止および削除を周知するとともに、職場管理者による情報削除等の確認を実施。
- 上記とあわせ、人事異動情報に紐付くシステム制限や入館制限、アクセスログ等の確認を実施。

